

創薬の最前線に立つ

～新薬開発への取り組み～

兵庫医療大学
薬学部(創薬化学)
教授

田中 明人

平成27年4月、複数の省に分かれていた医療分野の研究支援が、新設された「日本医療研究開発機構(AMED)」に一元化された。優れた基礎研究の成果を迅速に医薬品として実用化させる体制が整う中、その支援テーマの一つに採択されたのが、田中教授が大阪大学と共同で行っている研究だ。

実用化まで、あと一歩

AMEDの支援テーマになったのは、前立腺がんなどの抑制につながる化合物H U H S 0 1 5についての研究。H U H SはHyogo University of Health Sciencesの略。つまり兵庫医療大学の名前が付いた化合物だ。支援テーマは非公募制で、科学合理性や市場性の高さに加え、担当者の創薬への熱意などが評価されるため、選ばれるのは医薬品としての実用化にもっとも近い基礎研究といえる。田中教授は「副作用がない夢の抗がん剤になるのでは」と期待を寄せる。

病気のメカニズムを解析し、特定の薬理作用を持つ、副作用などの問題もクリアした化合物を作り出す「創薬化学」。その最初の一步は、病気の治癒・症状改善につながるキーとなるたんぱく質を見つけることだ。田中教授の研究室では、このたんぱく質の発見に役立つ技術を開発、いくつかの特許も取得している。

大切なのはネットワーク

田中教授いわく、新しいものを生み出すのに大切なのは「偶然を見逃さないこと」。「例えば、ある薬を飲んでいて患者さんが別の病気にもかかってくる、と誰かが偶然発見する。創薬につながるそういう偶然を見逃さないのがプロの目です」。

もちろん、そのような情報を確実に

に捉えるには、情報が入ってくるネットワークが必要だ。「この仕事では、“本物”の人的ネットワークを持ち続けることが大事。新しい発見というのは、なかなか自分一人では捉えられない。多くの信頼できる友人を持っていることこそが大切です」。そのためには「特定の分野については『田中に聞けば分かる』というステータスを持ち続けることが重要」という。「海外でネットワークを作ろうとすると『日本人は真面目すぎてつまらない』といわれる。笑いをとろうとする人間が受け入れられやすいんです。だから、バラエティ番組を見て勉強しています(笑)」。



プロフェッショナルに必要なこと

創薬には、豊かな発想力も必要だ。「自分が試薬になった気になって、思考実験を繰り返します。たくさんなたんぱく質の中からターゲットだけを捕まえるために、試薬である自分はどのような状態にあるべきだろう

か、というようなことを、頭の中で何度も考えるんです」。視点を変えることで、見えるものも変わると話す田中教授。これは、学生に伝えたいことの一つでもある。「人間関係でいうと、相手の立場に立って考えるということ。社会に出る前にぜひ身に付けておいてほしいですね」。

周りに聞くと、田中教授の性格は「ポジティブ」「めげない」「最後までやりぬく」…。一つの薬を作り出すのに15～20年という長い年月と1000億円ともいわれる莫大な金額がかかることとされる創薬の世界。田中教授のような前向きな性格とねばり強さこそが、プロフェッショナルに必要なことなのかもしれない。

最大の悩みは「時間がない」こと。「研究したいことがいっぱいあるんだけど…」。大学業務や講義の傍ら、早朝、夜、休日などの空き時間のほとんどを研究に費やし、研究室での泊まり込みも珍しくない。それでも「今やっていることが形になれば、十分夢は果たせる。なんとかやりとげたいですね」。



グループワークを通じて、学生たちによる能動的な学習を促進する「チーム基盤型学習(TBL: Team Based Learning)」。3年生の授業で行われている「症候病態TBL(I)」では、課題として与えられた症候から各疾患の鑑別診断を行い、診断のプロセスや病態を学びます。

この授業では、まず予習の成果を測るために個人試験を行った後、6人ずつのグループに分かれ、個人試験で回答した内容やその理由について議論を実施。そこから導き出された回答内容を、グループごとに配付された2台の「iPad」を用いて入力していきます。



iPadを使ったリアルタイムで双方向な授業



それぞれの知識を出し合って議論

グループごとの回答内容は、教員のパソコンにリアルタイムで表示されるため、「なぜその回答にしたのか？」を教員がその場で質問したり、学生が考えた理由を説明したり、それを受けてまた教員が間違いの多かった問題を重点的に解説するなど双方向の授業で理解を深めることができるのが特徴です。

また、成績についてはグループ回答の正否だけでなく、グループ内での発言内容や貢献度など、学生同士の相互評価の内容も反映させています。



討論で導き出した答えをiPadで送信



送信された答えは教員のPCにリアルタイム表示



気になる授業

兵庫医科大学・兵庫医療大学の魅力たっぷりの授業をご紹介します！



成人看護技術演習は、臨床の状況に応じた知識や看護技術を習得することを目的とした、看護学部3年次生で行われる授業です。

いつも真剣に取り組んでいます！



輸液の準備

この日成人看護学実習室で行われた輸液管理の演習では、点滴静脈内注射の準備と実施および輸液ポンプ・シリンジポンプを用いた静脈内注射の管理法について学びました。



患者さんへの投与

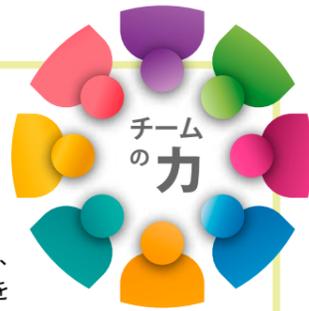


輸液ルートのセット

演習では、手洗い後、指示箋を確認し清潔操作に留意しながら確実に輸液を準備します。続いて、病室で患者さんの前腕に留置された輸液ラインの側管に、準備した輸液を接続して正確に投与するという一連の流れを学びます。また、滴下数の管理や患者さんの留置針刺入部・輸液ライン・病床環境の観察など、学ぶべきことが多くあります。

学生は、安全と感染予防についての知識をもとに、的確な看護技術が身に付くように取り組んでいます。

学校法人 兵庫医科大学のチーム医療とは



● 基本理念

1. チーム医療は、多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を前提に医療を総合的にとらえ、目的と情報を共有し互いに連携・補完し協働することにより、患者の生命の尊厳や人生観を尊重し生活の質(QOL)を維持・向上させるものである。
2. チーム医療は、予防から看取りまでのすべての時間軸、家庭から病院までのすべての場において、患者・家族との信頼関係の下にともに考え、状況に応じて適切かつ効率的に医療サービスを提供するものである。

● チーム医療がもたらすもの

チーム医療は

- 1) 医療の水準を高め、医療安全を向上させる。
- 2) 業務を効率化し、働く意欲を高める。
- 3) 患者ならびに家族の医療への参画と信頼性を高める。

● チーム医療実現のために

- 1) 兵庫医科大学・兵庫医療大学間で大学・学部の垣根を超え、ボーダレスな教育を行う。
- 2) 両大学は連携してチーム医療の推進について研究を行い、情報を発信する。
- 3) 兵庫医科大学病院ならびにささやま医療センターはチーム医療実現のため環境を整え、スタッフを支援する。
- 4) 学校法人兵庫医科大学は、チーム医療推進のためスタッフのキャリア形成を支援する。

「患者さんとともに考える」を学ぶ 臨床倫理ワークショップを開催

～地域医療機関にも拡大した多職種連携教育が始動～

学校法人兵庫医科大学 医療人育成センターでは、「患者さんにより良い医療サービスを提供すること」「医療従事者に対し、職種や施設の枠を超えてチーム医療を学ぶ機会を提供すること」などを目的とした「チーム医療研修」を実施しています。

第1回は今、最も注目されている「臨床倫理」を取り上げ、2015年5月30日、職種間の垣根を越えて話し合う「臨床倫理多職種カンファレンス」が、兵庫医科大学病院医療安全管理部と共催してワークショップ形式で開催されました。参加者は47名で院内教職員のみでなく院外からの参加者も迎え、一般的な「倫理」に「地域性」を加味した内容となりました。

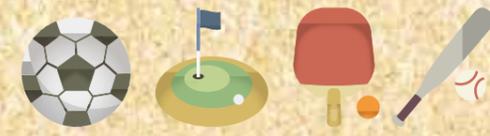
兵庫医科大学病院や他の医療機関で勤務する医師や看護師、メディカルスタッフが混成のチームを作り、実際に経験した状況をもとにしたシナリオを題材として、その場面における各職種の役割や患者さんのお気持ちなどを話し合いました。ファシリテーターは医学教育センター高橋敬子准教授が務め、最後には「患者さんとともに考える」ことの重要性や「患者さんに納得いただける説明と

同意(インフォームドコンセント)の在り方」について討論しました。研修の参加者は「倫理について考える良い機会になった」「色々な職種の人たちと貴重な意見交換ができて新鮮だった」と感想を述べていました。

兵庫医科大学病院は安全で質の高い医療の提供と地域社会への貢献、またよき医療人の育成を理念に掲げています。医療人育成センターでは、この理念に沿って医療安全の要である「チーム医療教育」に力を入れ、今後も医科大学の使命として地域に広く発信できる研修を実施していく予定です。



CLUB 課外活動紹介



患者さんの笑顔のために本をお届けしています

兵庫医科大学

ボランティア部 WITH YOU

ボランティア部 WITH YOUでは、40人ほどの部員が毎週火曜と水曜に4台のカートを使って6つの病棟を回り図書の新し出しの活動をしており、兵庫医科大学病院の病棟における患者サービスに貢献しています。学生がどのような活動をしているのかをご紹介します。

貸し出している図書のジャンルは、雑誌や漫画、小説、絵本などさまざまです。重い荷物を持つことができない患者さんや、ベッドから離れられない患者さんには、ベッドサイドまで本をお持ちしています。「あなたたち学生と談笑することが気分転換になる」とおっしゃってくださる患者さんもあるので、笑顔での対応を心掛けています。「いつも楽しみにしているよ」と声を掛けていただいたりすると、お役に立っていることをうれしく思います。

この活動では、実習中のように白衣ではなく、緑のエプロンをつけて病棟を回っていることもあってか、医療関係者として接する時よりも患者さんとの距離が近い気がします。この距離での患者さんとのお話の仕方を学び、また普段の患者さんの姿を知ることが、将来医師になってからも役に立つのではないかと思います。



女性には料理雑誌の人气が高く、漫画は気軽に読めるので男女問わず人気があります。特に年配の男性には「ゴルフ13」が圧倒的に人気です。本は部費で購入する他、患者さんや先生方から寄贈いただくこともあります。読まない本がありましたら、ぜひご寄付ください。

ボランティア部部長
4年 水杉 ゆり恵さん

スポーツ大会を開催

兵庫医療大学

平成27年5月13日、大学行事实行委員会主催のスポーツ大会が兵庫医療大学アリーナで開催されました。講義終了後、19時からの開催となりましたが、多くの在学生が参加してリレーやドッジボールなどで競いました。

大会は10人程度で編成されたチームで対抗戦を行い、各競技の合計点で優勝を争う形式で行われました。最終競技まで優勝の行方が分からない白熱した大会となり、学生たちは競技前に円陣を組んだり、観客として大きな歓声を上げるなど、普段の授業での様子とは違った姿を見せていました。

スポーツ大会は学生主体で毎年運営されており、主催者だけでなく、その他の学生の参加者も積極的に大会を盛り上げようと取り組む姿勢が印象的でした。中心となって企画してくれた大学行事实行委員会の皆さん、お疲れ様でした。



就任関連

名誉教授称号の授与

次の4名の方に名誉教授の称号が授与されました。



学校法人 兵庫医科大学 理事就任挨拶



副院長・看護部長
山田 明美

4月1日付で兵庫医科大学理事に就任させていただきました。私は平成23年6月から評議員として理事会の決定や提案事項等の審議に関わってまいりました。このたび、理事の一人として、法人の業務執行の決定等を行う重要な立場を頂き、責務の重大さに身の引き締まる思いです。

主な担当業務は「病院等診療施設の看護業務の連絡・調整」、「大学病院の看護部の運営」、「兵庫医療大学看護学部との連携」です。組織における看護職の役割の重要性を認識し、法人経営に貢献できるよう、多角的視野を持ってその責務を果たす所存です。さらに、医療職と事務職の協働が円滑に行え、職員一人ひとりがその力を十分発揮できる、すばらしい組織づくりの一翼を担っていきたく考えております。

皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



副学長・主任教授
西口 修平

6月1日付で、理事を拝命いたしましたので、一言ご挨拶を申し上げます。小生は、平成17年より波田壽一先生の後任として内科学肝・胆・膵科に赴任いたしました。その後、本学が肝疾患診療連携拠点病院に選ばれたため肝疾患センター長として学内の調整役を務めてまいりました。

また、治験に深く関わってきたことから臨床研究支援センター長も兼務し、平成25年4月より中西学長から学術担当の副学長を仰せつかりました。

今回、理事に抜擢いただきましたのは、本学が国より臨床研究中核病院として承認されるための体制整備を、新家理事長、中西学長、難波病院長のご指示のもとで強力に推進せよとのご下命と理解しております。浅学非才の身ではありますが、学校法人兵庫医科大学のさらなる発展のために最大限の努力をする所存です。御支援をよろしくお願いいたします。

理事・評議員の異動

次の通り理事・評議員の異動がありました。

理事		
新任(6月1日付)	兵庫医科大学主任教授・副学長・肝疾患センター長・臨床研究支援センター長	西口 修平
評議員		
新任(6月1日付)	兵庫医科大学主任教授・副学長・肝疾患センター長・臨床研究支援センター長	西口 修平
	兵庫県健康福祉部健康局医務課長	松原 昭雄
	西宮市副市長	掛田 紀夫
人事異動に伴う辞任(5月31日付)	北播磨県民局県民交流室長	藪本 訓弘
	西宮市副市長	松永 博

人事情報

人事部により4月～6月に公表された、次長相当以上の役職者の人事情報を掲載しています。

人事情報につきましては
WEB上では割愛させていただきます

皆様からのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

兵庫医科大学開学40周年記念事業募金

(募金推進課) H24.7.1~H27.6.15

区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	191	944,935,000	486	298,421,311	677	1,243,356,311
入金	189	909,715,000	481	234,314,211	670	1,144,029,211

寄付申込者ご芳名・法人名一覧 H27.3.16~H27.6.15

〔企業等法人〕(11社)	〔役員・教職員等〕(6名)	〔緑樹会・その他個人〕(2名)
<ul style="list-style-type: none"> ●ご芳名・金額記載 5社 株式会社岡村製作所 神戸支店 様 2,000,000円 株式会社紀伊國屋書店 様 500,000円 株式会社光洋 様 1,000,000円 燦ホーディングス株式会社 様 7,000,000円 株式会社MAY・MANAGEMENT 様 1,000,000円 ●ご芳名のみ 6社 医療法人赤木医院 様 杏林製薬株式会社 様 合同東邦株式会社 様 株式会社トランスワド 様 ツグ電子兵庫販売株式会社 様 扶桑薬品工業株式会社 様 	<ul style="list-style-type: none"> ●ご芳名・金額記載 1名 三村 治 様 100,000円 ●ご芳名のみ 3名 阿部 和夫 様 肥塚 浩昌 様 野田 幸恵 様 (匿名2名) 	<ul style="list-style-type: none"> (匿名2名)

学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会 状況報告

(募金推進課) H21.7.1~H27.6.15

区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	282	59,655,000	1,044	79,545,498	1,326	139,200,498
入金	280	59,455,000	1,037	79,260,498	1,317	138,715,498

寄付申込者ご芳名・法人名一覧 H27.3.16~H27.6.15

〔企業等法人〕(8社)	〔役員・教職員等〕(3名)	〔緑樹会・その他個人〕(93名)
<ul style="list-style-type: none"> ●ご芳名・金額記載 1社 株式会社白洋舎 様 300,000円 ●ご芳名のみ 5社 株式会社ホリス 様 日本コティエン株式会社 様 阪神消毒サービス 様 ヤマエネキシステム株式会社 様 有限会社宝塚新樹園 様 (匿名2社) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ご芳名のみ 2名 坂元 謙次 様 山田 明美 様 (匿名1名) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ご芳名・金額記載 13名 秋山 弘允 様 10,000円 勝田 修弘 様 50,000円 勝田 良子 様 10,000円 蔵田 恵子 様 250,000円 蔵田 博 様 500,000円 關戸 亮一 様 600,000円 永沼 不二夫 様 50,000円 ●ご芳名のみ 34名 伊藤 美枝子 様 上村 亮堯 様 太田 圭彦 様 岡田 実 様 勝木 キミ子 様 勝木 義人 様 門脇 正治 様 北村 威士 様 熊本 茂美 様 黒田 脩 様 黒田 正子 様 小谷 恵子 様 小谷 篤之 様 小原 修 様 小紫 格 様 坂元 順子 様 阪本 治男 様 宮崎 弘悦 様 50,000円 宮田 淳子 様 50,000円 宮村 信子 様 500,000円 森 有子 様 10,000円 ロッシブルーノ 様 500,000円 ロッシー ノリザ 様 250,000円 治部 和夫 様 下口 忠正 様 習田 大介 様 杉村 智子 様 瀬尾 多嘉子 様 瀬尾 宏郎 様 田中 節子 様 田中 幸雄 様 寺田 直子 様 天王寺谷 裕子 様 中嶋 幸代 様 中原 仙二 様 西川 慶郎 様 西田 正樹 様 西原 力 様 畑 守人 様 波田 壽一 様 (匿名46名)

おめでとうございます —表彰および受賞紹介—

兵庫医科大学 ベストティーチャー賞 授与(作問部門、ブラッシュアップ部門)

平成27年5月7日の教授会において、ベストティーチャー賞の「作問部門」と「ブラッシュアップ部門」の表彰が行われました。

この賞は、今年新しくベストティーチャー賞の部門として加えられたもので、総合試験問題などの作成において尽力した教員に贈られるものです。受賞した2名の教員には、中西学長から賞状(盾)と副賞(目録)が手渡されました。

今後も、良質な試験問題作成に向け取り組んでまいります。



作問部門 内科学リウマチ膠原病科 関口 昌弘 助教
ブラッシュアップ部門 眼科学 木村 亜紀子 准教授

各賞受賞

■ 兵庫医科大学

The European Stroke Organization Conference 2015 Best Poster Award 賞

先端医学研究所 神経再生研究部門 松山 知弘 教授
発表演題: BRAIN VASCULAR PERICYTES ACQUIRE STEMNESS FOLLOWING ISHEMIC INSULT

日本麻酔科学会第62回学術集会 最優秀演題賞

内科学総合診療科 太田 好紀 講師
発表演題: ICUにおける薬剤性有害事象の疫学研究

■ 兵庫医療大学

公益社団法人日本小児保健協会 研究助成賞

看護学部 鈴木 江三子 教授
受賞研究: 学童保育指導員が認識した入所時の児童虐待被害児童と親の行動の特徴

■ 兵庫医科大学病院

栄養指導業務功労者 兵庫県知事表彰

臨床栄養部 三野 幸治 主任栄養士

兵庫医科大学 平成27年度科学研究費助成事業交付内定一覧

平成27年度科学研究費助成事業 142件 総額245,820千円(うち直接経費189,900千円、間接経費55,920千円)の交付が内定されました。

なお、昨年度の交付額は124件 総額260,390千円(うち直接経費200,300千円、間接経費60,090千円)でした。

研究種目	新規採択	継続採択	交付件数
基盤研究(A)	0	0	0
基盤研究(B)	2	10	12
基盤研究(C)	36	52	88
挑戦的萌芽研究	5	3	8
研究活動スタート支援		0	0
新学術領域研究	1	0	1
若手研究(A)	0	0	0
若手研究(B)	13	13	26
奨励研究	7		7
合計	64	78	142

交付の詳細はホームページをご覧ください。
 兵庫医科大学ホームページ⇒研究⇒研究助成金・補助金について
 (http://www.hyo-med.ac.jp/research_facilities/subsidy/funds01.html)

平成27年度公的資金一覧

(単位:円)

区分	研究課題(プロジェクト)名	所属部署	職名	研究代表者等	事業費	交付(配分)予定額	間接経費(一般管理費)内数	備考
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	病原体とガンのアジュバントの研究拠点		学長	中西 憲司	37,000,000	18,500,000	0	平成24年度～27年度 文部科学省
	がん微小環境を標的とする消化器がん治療法の開発	外科学 上部消化管外科	主任教授	笹子 三津留	40,000,000	20,000,000	0	平成24年度～27年度 文部科学省
	上皮細胞の統合的研究拠点形成	内科学 呼吸器・RCU科	主任教授	中野 孝司	40,000,000	20,000,000	0	平成24年度～28年度 文部科学省
	HLA半合致移植と骨髄内骨髄移植を柱とする包括的細胞療法確立を目指した研究	内科学 血液内科	主任教授	小川 啓恭	11,000,000	5,500,000	0	平成25年度～29年度 文部科学省
	難治性疼痛・感覚異常に対する創薬基礎研究	解剖学 神経科学部門	主任教授	野口 光一	30,000,000	15,000,000	0	平成26年度～30年度 文部科学省
	外科手術後癒着形成:分子機構の解明と診断・治療技術の開発	外科学 肝胆脾外科	主任教授	藤元 治朗	40,000,000	20,000,000	0	平成26年度～30年度 文部科学省
環境研究総合推進費	血管内治療と細胞治療による脳卒中急性期治療の研究拠点形成	脳神経外科学	主任教授	吉村 紳一	40,000,000	20,000,000	0	平成27年度～31年度 文部科学省
	大気環境の異なる地域におけるPM2.5及びオゾンの呼吸器系への影響に関する疫学研究	公衆衛生学	主任教授	島 正之	33,345,000	33,345,000	2,584,180	平成26年度～28年度 環境省
計(8件)					271,345,000	152,345,000	2,584,180	

平成27年度厚生労働科学研究費補助金交付内定一覧

(単位:円)

研究事業名	所属	研究代表者	研究課題名	交付内定額	
				直接経費	間接経費
地域医療基盤開発推進	臨床疫学	森本 剛	安全な薬物治療を促進する多職種間情報共有システムの開発に関する研究	2,975,000	149,000
計(1件)				2,975,000	149,000
				3,124,000	

平成27年度日本医療研究開発機構委託研究開発費 交付内定一覧

(単位:円)

研究事業名	所属	研究代表者	研究課題名	交付内定額	
				直接経費	間接経費
次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	内科学(呼吸器・RCU科)	中野 孝司	分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発(悪性上皮腫のプロファイリングによる新規分子標的の同定)	15,454,547	1,545,453
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化	脳神経外科学	吉村 紳一	循環器疾患の新たな治療法の開発に関する研究	1,873,000	561,900
計(2件)				17,327,547	2,107,353
				19,434,900	

兵庫医療大学 平成27年度科学研究費助成事業交付内定一覧

平成27年度科学研究費助成事業 35件 総額54,470千円(うち直接経費41,900千円、間接経費12,570千円)の交付が内定されました。

なお、昨年度の交付額は44件 総額66,430千円(うち直接経費51,100千円、間接経費15,330千円)でした。

研究種目	新規採択	継続採択	交付件数
基盤研究(B)	0	1	1
基盤研究(C)	8	11	19
挑戦的萌芽研究	0	5	5
若手研究(B)	6	4	10
合計	14	21	35

交付の詳細はホームページをご覧ください。
 兵庫医療大学ホームページ⇒研究支援関連⇒科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金
 (<http://www.huhs.ac.jp/index.php/kenkyu-shien.html?id=570.html#list>)

平成27年度日本医療研究開発機構委託実験調査費の交付内定一覧

(単位:円)

研究課題名	所属部署	研究代表者	交付内定額	
			直接経費	一般管理費
PCA-1を分子標的とするfirst-in-classのがん治療創薬-現リードの最適化研究と作用機序の解明	薬学部	田中 明人	33,999,610	3,399,961
計(1件)			37,399,571	

兵庫医科大学 創設者 森村茂樹先生 生誕100年



知

ってる?

兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学の
"すごい"や"隠れた魅力"を
ご紹介します!

▶ 平成28年3月で、生誕100年

兵庫医科大学の創設者である森村茂樹先生は、大正5年(1916年)3月21日に生まれました。平成28年3月には、生誕100年を迎えます。

森村先生は、昭和34年頃より医科大学の設立を計画され、さまざまな困難に立ち向かいながら、長年の努力の末、昭和46年11月22日に兵庫医科大学を設立されました。

▶ 建学の精神 ～引き継がれる想い

建学の精神は兵庫医科大学設立にあたり定められたもので、創設者である森村茂樹先生の想いがこもった、兵庫医科大学の礎となるものです。この想いは、大学開学から43年を経て大きく発展した2大学2病院にも脈々と受け継がれています。

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

正門に兵庫医科大学の看板を掲げる森村先生





報道機関への出演・掲載

本学の取り組みや医療関連業務、医師等に対する取材、報道機関への出演・掲載情報をお知らせします。

新聞・雑誌等 出演情報 4月から6月

掲載媒体	掲載日	関係者	概要
読売新聞(朝刊)	4月2日	耳鼻咽喉・頭頸部外科 任 智美 講師	医療ルネサンスのコーナーにて味覚障害の診療内容や診療に対するコメントなどが掲載されました。
神戸新聞(夕刊)	4月6日	救命救急センター 小谷 稔治 センター長 上田 敬博 副センター長	NPO法人「日本国際救急救助技術支援会」と、同法人に所属する兵庫医科大学の医師、看護師らが、深刻な医師不足が続くカンボジアに救急医療医養成の支援を続けており、その活動やコメントなどが掲載されました。
読売新聞(朝刊)	4月7日	耳鼻咽喉・頭頸部外科 任 智美 講師	医療ルネサンスのコーナーにて、味覚障害について、症状や検査内容、治療について解説した内容が掲載されました。
朝日新聞(朝刊)	4月15日	救命救急センター 上田 敬博 副センター長	兵庫医科大学病院の熱傷センターの取り組みや、熱傷治療についてコメントした内容が掲載されました。
神戸新聞(夕刊) 産経新聞(夕刊)	4月17日 4月18日	救命救急センター 小谷 稔治 センター長	兵庫医科大学病院が公開したJR福知山線脱線事故当時の映像についてコメントした内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	4月20日	千代 豪昭 特別招聘教授	出生前診断に関する記事にて、患者さんに対する遺伝カウンセリングについてコメントした内容が掲載されました。
毎日新聞(夕刊)	4月23日	救命救急センター 小谷 稔治 センター長	JR福知山線脱線事故当時の救命活動について、兵庫医科大学病院が公開した映像に関する説明と教訓についてコメントした内容が掲載されました。
読売ファミリー	4月24日	兵庫医科大学 健康医学クリニック	兵庫医科大学 健康医学クリニック開設に関するお知らせが掲載されました。
産経新聞(朝刊)	4月24日	兵庫医科大学 中西 憲司 学長	兵庫医科大学の教育内容や、学長挨拶が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	4月26日	循環器内科 峰 隆直 講師	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、監修を行った「健康診断を終えたら、はじめどき！ 診断結果から考えるから改善計画！ vol.5【心電図に異常がある】」と題された記事が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	5月2日	産科婦人科 柴原 浩章 主任教授	「ひょうごの医療」コーナーにて、がん治療と生殖補助医療の連携などについて解説した内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	5月3日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(呼吸器疾患)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2014年)が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	5月9日	産科婦人科 柴原 浩章 主任教授	「ひょうごの医療」コーナーにて、無精子症などについて解説した内容が掲載されました。
産経新聞(朝刊)	5月12日	呼吸器外科 長谷川 誠紀 主任教授	「がんを知り、がんとともに生きる」と題した座談会に関する記事にて、がん治療に関してコメントした内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	5月16日	産科婦人科 澤井 英明 准教授 末永 真里 看護師長	ひょうごの医療コーナーにて出生前診断における妊婦へのサポートについてなどコメントした内容が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	5月26日	腎・透析内科 中西 健 主任教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、監修を行った「健康診断を終えたら、はじめどき！ 診断結果から考えるから改善計画！ vol.6【腎機能の低下】」と題された記事が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	5月29日	小児科 服部 益治 教授	神戸市内の中学・高校の教員を対象とした「熱中症対策」に関する研修会で講演した内容が掲載されました。
大学Times	6月1日	看護学部 竹田 千佐子 教授	講演を行った「医療現場から見る大卒医療従事者の現状と今後の展望」の内容について掲載されました。
読売ファミリー	6月3日	眼科 三村 治 主任教授	飛蚊症に関する記事にて、治療が必要な症状、そうでない症状などについて解説した内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	6月4日	兵庫医療大学	「兵庫の大学へ行こう2016」と題された特集にて、兵庫医科大学や病院と連携して次代の医療人を育成する兵庫医療大学について、全面広告記事を掲載しました。
読売新聞(朝刊)	6月7日	糖尿病・内分泌・代謝内科 宮川 潤一郎 教授	「病院の実力」(糖尿病)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2015年)と、糖尿病の症状や特徴について解説した内容が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	6月7日	小児科 服部 益治 教授	中高生の熱中症や、高齢者のかくれ脱水について解説した内容が掲載されました。
週刊朝日	6月19日	脳神経外科 吉村 紳一 主任教授	脳梗塞に関する記事にて、症状や治療などについて兵庫医科大学病院 脳神経外科の吉村 紳一主任教授がコメントした内容が掲載されました。
日本経済新聞(朝刊)	6月21日	消化管内科 三輪 洋人 主任教授	胃の病気や治療法に関する記事にて、「ピロリ検査」などについて解説した内容が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	6月25日	リハビリテーション学部 川口 浩太郎 教授	「キャンパス通信ポータル4大学連携講座」コーナーにて、「国際大会と理学療法士」と題し、国際的な競技大会で選手の応急処置やコンディショニングを行う理学療法士の働きについて寄稿した内容が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	6月25日	肝・胆・膵内科 西口 修平 主任教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、監修を行った「健康診断を終えたら、はじめどき！ 診断結果から考えるから改善計画！ vol.7【肝機能の低下】」と題された記事が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	6月26日 6月27日	呼吸器内科 中野 孝司 主任教授	石棉公害を取り上げた記事にて、1980年代に中皮腫の患者さんを診察した際の学会報告や、当時の治療の様子などについて語った内容が掲載されました。
医学界新聞	6月29日	臨床疫学 森本 剛 教授	「統計家を臨床医の良きパートナーに」と題した記事にて、統計学教育の在り方などについて対談した内容が掲載されました。

テレビ・ラジオ出演情報 4月から6月

放送局	番組	放送日	関係者	概要
朝日放送	キャスト	4月7日	眼科 三村 治 主任教授	「紫外線と目の病気」について解説した内容が放送されました。
朝日放送	キャスト	4月17日	兵庫医科大学病院	JR福知山線脱線事故に関するニュースにて、兵庫医科大学病院が公開した「事故当日の搬送治療の映像」などについて放送されました。
関西テレビ	ゆうがたLIVEワンダー			
サンテレビ	サンテレビニュース NEWS PORT			
毎日放送	VOICE	4月21日	救命救急センター 小谷 稔治 センター長	JR福知山線脱線事故に関するニュースにて、兵庫医科大学病院が公開した「事故当日の搬送治療の映像」や、当時の様子などについて解説した内容が放送されました。
テレビ大阪	ニュースリアル	4月22日		
朝日放送	モーニング・バード	4月28日	小児科 服部 益治 教授	「熱中症」について解説した内容が放送されました。
関西テレビ	ゆうがたLIVEワンダー	4月28日	小児科 服部 益治 教授	「熱中症と脱水症、その対策」について説明した内容が放送されました。
関西テレビ	ゆうがたLIVEワンダー	5月1日	精神科神経科 岩本 行生 病院助手	「アルコール依存症」について解説した内容が放送されました。
朝日放送	キャスト	5月1日	下部消化管外科 松原 長秀 教授	大腸がんの病状や予防法などについてスタジオで解説した内容が放送されました。
ラジオ関西	寺谷一紀のまいど！まいど！	5月1日	救命救急センター 中尾 博之 准教授	救急・災害医学についての取り組みなどについてお話しした内容が放送されました。
毎日放送	ちちんぷいぷい	5月8日	小児科 服部 益治 教授	「汗をかくことのメリット」「熱中症」について解説した内容が放送されました。
			整形外科 柏 薫里 助教	「ランニング障害」について解説した内容が放送されました。
毎日放送	医のココロ	5月16日	糖尿病・内分泌・代謝内科 小山 英則 准教授	「糖尿病」について解説した内容が放送されました。
朝日放送	キャスト	5月26日	皮膚科 夏秋 優 准教授	「行楽シーズンに注意したい虫と植物」と題した特集にて、「チャドクガの幼虫」に刺された際の症状などについて解説した内容が放送されました。
ABCラジオ	「被災する肺～震災20年次の震災アスベスト被害を出さないために～」	5月31日	呼吸器内科 中野 孝司 主任教授	アスベストを吸引することによって発症する恐れがある「悪性中皮腫」について解説した内容が放送されました。
ABCラジオ	健やかライフ	6月1日～5日	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 都築 建三 准教授	「鼻炎」について解説した内容が放送されました。
朝日放送	キャスト	6月17日	小児科 服部 益治 教授	食中毒に関する特集にて、原因の一つである「キャンピロバクター」などについて解説した内容が放送されました。
NHK総合	きょうの健康	6月22日	下部消化管外科 富田 尚裕 主任教授	遺伝性のがんについてスタジオで解説した内容が放送されました。
NHK総合	ニュースほっと関西	6月30日	皮膚科 夏秋 優 准教授	「これで蚊に勝つ！目から鱗の最新対策」として蚊に刺された際の対処法などについて解説した内容が放送されました。

本学ホームページにも最新情報を掲載しています！

[兵庫医大 広報 テレビ放送](#)

[検索](#)

[兵庫医大 広報 新聞掲載](#)

[検索](#)

教職員の方へ

広報課では法人全体の報道機関などへの出演・掲載を把握し、ホームページや広報誌を通して皆様にご案内させていただいております。報道機関等から、広報課を介さずに取材依頼や掲載許諾があった場合は広報課へご連絡ください。

8月

1日	兵庫医科大学病院	サマーコンサート
2日	兵庫医科大学	オープンキャンパス
	兵庫医療大学	兵庫医療大学説明会(岡山)
3～8日	兵庫医療大学	早期臨床体験実習(ECE)(1年次生)
6日	兵庫医療大学	保健師ガイダンス(看護学部(全学年)対象)
		公務員採用試験対策講座(全学部全学年対象)
7日	兵庫医療大学	グループディスカッション対策講座(全学部全学科対象)
8・9日	兵庫医療大学	オープンキャンパス
	兵庫医科大学病院	総合診療専門医育成プログラム講演会
10日	兵庫医療大学	社会人スキル対策講座(リハビリテーション学部4年生対象)
15日	兵庫医療大学	兵庫医科大学病院見学会イベント(看護職を目指す高校生対象)
18日	兵庫医科大学	オープンキャンパス
19日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「腎不全と腎移植」
21日	ささやま医療センター	クリニカルバス大会
22・23日	兵庫医療大学	オープンキャンパス
22日	ささやま医療センター	老人保健施設納涼祭
24日	ささやま医療センター	市民ふれあい健康教室
29日	兵庫医科大学	私立医科大学合同入試説明会・相談会
	学校法人兵庫医科大学	リハビリテーション関連施設合同セミナー

※日程など、今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。

9月

2日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「直腸癌に対する括約筋温存術～人工肛門にならない為の手術～」
5日	兵庫医科大学	大学院入学試験(前期)
	兵庫医科大学病院	クリーンハンドキャンペーン
7～11日	兵庫医科大学	チーム医療演習
	兵庫医療大学	
9日	兵庫医療大学	社会人スキルガイダンス～接遇マナー～(看護学部3年次生対象)
10日	兵庫医科大学病院	フロンティア医療セミナー
10・11日	兵庫医科大学	国内医科大学視察と討論の会
	兵庫医科大学	早期臨床体験実習(合同チュートリアル)(1年次生)
14～16日	兵庫医科大学	
	兵庫医科大学病院	市民健康講座「痛風と高尿酸血症について～診断・治療と自己管理～」
16日	ささやま老人保健施設	敬老会
18日	兵庫医科大学病院	防災訓練
19日	兵庫医療大学	秋季学位授与式
26日	兵庫医科大学	大学院入学試験(薬学研究科・看護学研究科・医療科学研究科)

10月

2日	兵庫医科大学	大学院入学試験(前期)合格発表
3日	兵庫医療大学	保護者懇談会
11日	兵庫医療大学	ホームカミングディ・同窓会
11・12日	兵庫医科大学	大学祭
20日	兵庫医科大学	篤志解剖体慰霊祭

学校法人 兵庫医科大学 事業法人

株式会社 **エイチ・アイ**

有限会社 **エイチ・アイ・サービス**



**大学・病院の事業拡大や
学生・教職員の福利厚生の充実を、
全力でサポートする会社です。**

各種斡旋：不動産、家電製品、引越業者紹介、貸衣装他
保険設計：団体扱自動車・火災保険、「学生総合補償制度」、
生命保険「何でも相談」等々・・・

お気軽にお問合せ下さい。

兵庫医科大学内
TEL：0798-45-6656 / 6673
http://hi-hyogo.com/hi.html
http://hi-hyogo.com/his.html

ご意見をお聞かせください

本誌では、皆さまのご意見・ご感想をもとに、親しみのもてる誌面づくりを目指しています。

誌面・記事のご感想や、ご要望、企画の提案、取材対象者のご紹介など、ぜひ、皆さまの声をお聞かせください。



【お問合せ先】
学校法人 兵庫医科大学
広報課

〒663-8501
兵庫県西宮市武庫川町1-1
TEL 0798-45-6655
FAX 0798-45-6219
Email kouhou@hyo-med.ac.jp

平成27年4月1日

人間ドック開設

～健康な人生を送るために～



阪神武庫川駅西出口より徒歩5分



兵庫医科大学 健康医学クリニック



予約受付中

兵庫医大 健康医学 検索

〒663-8137 兵庫県西宮市池開町22・23番 FAX (0798) 44-6215
☎ **0120-682-701 (直通)**
http://www.hyo-med-kenshin.com/

学校法人兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解



兵庫医科大学

兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL:0798-45-6111(代)
<http://www.hyo-med.ac.jp/> (大学)
<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/> (病院)
<http://www.corp.hyo-med.ac.jp/> (法人)



兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
TEL:078-304-3000(代)
<http://www.huhs.ac.jp/>



兵庫医科大学

ささやま医療センター

〒669-2321 兵庫県篠山市黒岡5番地
TEL:079-552-1181(代)
<http://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/>

学校法人兵庫医科大学広報

発行月 / 2015年8月号・VOL.231

発行日 / 2015年8月7日

発行 / 学校法人兵庫医科大学 広報課

